

# 令和元年度 障がい者の住みよいまちづくり懇話会の発表内容

2019.10.26(土) 4階会議室

求めること	
1班	・障がい者と行政の繋がりを深く強固にしたい。
	・各団体の懇話会を年に数回行ってほしい。
	・観光紹介や病院等に手話(通訳)を付けてほしい。
	・障がい者のみでなく、みんなの街をテーマにまちづくりをする。
	・いろいろなことを他人事にしない思いをつくる。
	・障がい者雇用時の年金は？
	・精神の方は、どの様にして表の方へ出していただけるのか、情報を出しているのか。
	・トイレの高さ指定はない？
2班	・ゴミの収集を定期的に取りにきてほしい。←町内によってはボランティアでやってくれる人がいる。←区長や民生委員さんに相談してみたらいい？
	・協会の新規会員増加に協力してほしい。
	・外に出るための交通手段がない←手段が増えれば、各種イベントの参加者が増えるのでは？
	・免許返納後の交通手段はマイクロバスを巡回させてはどうか。バスの便が少なくて不便。
	・交通手段があっても一人で乗れない人もいる。
	・有償サービスを使おうにも空きがない。
3班	・フリーwifi
	・スマホ決済
	・情報が足りない(メルマガなど)。
	・周囲の人とコミュニケーションがとれない。
	・施設に電子掲示板を付けてほしい。
	・災害時の対応として、必要な個人宅へ防災ラジオを設置してはどうか。
	・市内に精神障がい者の施設がない。入院はしてほしくないの、老後安心して生活できる場がほしい。
	・商店街に段差がある。バリアフリー化してほしい。
	・手話講習会を続けてほしい。
	・コミュニティバスとJRや福鉄との接続。利便性を向上してほしい。
	・千草の家に送迎バスがほしい。

## 令和元年度 障がい者の住みよいまちづくり懇話会の発表内容

必要なこと	
1班	・鯖江市内で発達障害を診る病院がない。
	・鯖江市内の生活介護施設が満員。
	・発達障害の特性(音や刺激に敏感な子)の対応が難しい。
	・集団生活が苦手な場合の今後の生活は？
2班	・手話を広げてほしい。
	・何か問題があった時、具体的な相談窓口があるとよい。
	・勉強会や相談会が定期的にあるといい。
	・医療機関等にすぐ繋がれるとよい。
	・災害時の避難場所を2、3か所設けてほしい。ケースワーカー等も配置したらよいのでは。
	・グループホームや作業所などは他市に比べて遅れているのでは。
	・親なき後に、行政が対応できることは何か？
	・ヘルプマークの認知が足りない。
	・障がい者施設に入所しづらい。
	3班
・親が亡くなった後自立できるよう、各種相談ができるとうい。	
・親なき後に息子がお金を管理できるか心配。	
・親なき後に自分がどのような生活になるか不安。	
・町内会とのつきあいが不安。	
・一人暮らしになった時の不安。	
・プレミアム商品券を購入すると使ってしまうので困る。	
・市役所の休日や時間外の受付が何度かあるとよいのでは。	
・精神障がい者用のグループホームが少ない。	
・多目的トイレ	
・コミュニティバスの停留所に近くの事業所名の表示を入れてはどうか。	
・ハートフル駐車場を分ける。	
・事業所をバリアフリー化するために何か助成があるとよいのでは。	
できること	
1班	・手話を教えること。
	・各団体に加入する。
取り組みたいこと	
1班	・相談員として相談を受ける。
	・ヘルプマークを周知する。